

三菱総合研究所とサステナビリティパートナー契約を締結

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)を運営するホンダモビリティランド株式会社(本社：三重県鈴鹿市、代表取締役社長：斎藤毅、以下「ホンダモビリティランド」と)、株式会社三菱総合研究所(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藪田健二、以下「MRI」)は、4月1日に「鈴鹿サーキットサステナビリティパートナー契約」を締結しました(以下「本パートナーシップ」)。

本パートナーシップに基づき、ホンダモビリティランドとMRIは連携を図り、鈴鹿サーキットにおけるサステナブルなモータースポーツイベントの実現を目指します。

ホンダモビリティランドは、サステナビリティ基本方針として「モビリティ文化の醸成とモータースポーツ振興、人材育成の実践フィールドを活かして、地球環境や社会課題への対応に取り組み、持続可能な未来づくりに貢献」することを掲げています。その上で、クリーンエネルギーの活用拡大や廃棄物の発生抑制とリサイクル促進により、温室効果ガスの削減を推進し、主要なモータースポーツイベントにおけるカーボンニュートラルの実現を目指しています。鈴鹿サーキットが推進してきた持続可能な未来づくりに向けた環境マネジメントシステムは、国際自動車連盟(FIA)環境認証プログラムの最高位となる3つ星を獲得しました。

MRIは、サステナビリティ推進に関する豊富な知見を生かし、鈴鹿サーキットにおける上記FIA環境認証プログラムの3つ星獲得を支援いただきました。引き続き、2030年カーボンニュートラルの実現をはじめとしたサステナビリティへの取り組みの推進に向けて、効果的なソリューションを提供いただく予定です。

ホンダモビリティランドとMRIは、今後も本パートナーシップのもとで連携を図り、脱炭素社会構築に向けた社会課題解決の一環として、鈴鹿サーキットにおけるサステナブルなモータースポーツイベントの実現を目指します。



株式会社三菱総合研究所 概要

本社：〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
代表者：代表取締役社長 藪田 健二
設立：1970年5月8日
資本金：63億3,624万円
事業内容：シンクタンク・コンサルティングサービス、ITサービス
ウェブサイト：<https://www.mri.co.jp/>